

教育研究データ			
1. 氏名	白石 崇人		
2. 生年月	1979年4月		
3. 取得学位	博士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
（1）教育内容・方法の工夫 ①ICT機器の活用 ②事前・事後学修の促進	2007年10月～	ICT機器を活用し、教材として動画を用いてきた。また、2015年4月からはiPadを用いた授業を展開している。特にGlexaを用いて即時の学修フィードバックや資料提供を行い、アクティブラーニングの授業を実践している。	
	2014年4月～	シラバスに事前・事後学修を表記（テキストや資料の読書や、ノートまとめなど）。小テスト・ノート提出を課して学修のフィードバックを行い、学修促進の工夫をしている。	
（2）教育方法・教育実践に関する発表、講演等 ①教員養成における教育史教育に関する単著論文 ②教職課程用電子教科書「教育の理論」シリーズ全4巻（Kindle）	2015年3月	「教員養成における教育史教育」広島文教女子大学高等教育研究センター編『高等教育研究』第2号、pp.29～48。	
	2022年3月～23年2月	『教育の思想と歴史—教育とは何かをもとめて』 『教師・保育者論—研究する教育者』 『教育の制度と経営—社会の中の教育』 『道徳教育の理論と方法—道徳を考え議論するために』	
5. 研究業績			
（1）著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①鳥取県教育会と教師—学び続ける明治期の教師たち—	単著	2015年 3月	鳥取県（鳥取県師ブックレット16）
②明治期大日本教育会・帝国教育会の教員改良—資質向上への指導的教員の動員—	単著	2017年 2月	溪水社
（2）学術論文	単著 共著	発行の 年月	掲載紙および巻/号、頁

	の別		
①岡山県後月郡教育会による地域教員の組織化と学習奨励—明治・大正初期（1893～1917年）を中心に	単著	2019年 4月	教育情報回路研究会編『近現代日本の地方教育行政と「教員育成コミュニティ」の特質に関する総合的研究』2018～2020年度科学研究費補助金（基盤研究(B)）中間報告書（I）、pp.(1)～(23)。
②1880～1930年代日本の教育学における科学的基礎づけ問題—教育事実の実証的研究の問題化と「教育科学」・「日本教育学」の制度化	単著	2021年 3月	広島文教大学高等教育研究センター編『広島文教大学高等教育研究』第7号、pp.45～60。
③現代日本社会における教育制度の課題—格差・AI・人口減少社会における主体的・対話的で深い学び、オンライン学習	単著	2021年 3月	広島文教大学教育学会編『広島文教教育』第35巻、pp.69～80。
④沼田良蔵・實文書について—幕末三原の漢学者から明治大正昭和公立学校長への転身	単著	2021年 12月	広島文教大学編『広島文教大学紀要』第56巻、pp.1～14。
⑤澤柳政太郎『実際的教育学』の実証主義再考—20世紀初頭の科学史・教育学史・教師の教育研究史における意義	単著	2022年 6月	日本教育学会編『教育学研究』第89巻第2号、pp.40～50。
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①20世紀初頭日本の中等教員養成における教育学の役割—東京帝国大学の吉田熊次による「大学に於ける教育学研究」論に注目して		2022年8月	日本教育学会第81回大会ラウンドテーブル、広島大学（オンライン）。
②日本教育協会結成における信濃教育会の役割—1948・49年度の信濃教育会所蔵資料を中心に		2022年9月	教育史学会第66回大会コロキウム、埼玉大学（オンライン）。
(4) 所属学会			
① 日本教育学会			
② 教育史学会			
③ 中国四国教育学会			
④ 全国地方教育史学会			
⑤ 日本教育史研究会			

